



鹿 骨 東 小 学 校



鹿骨東小学校公式ホームページ <http://edogawa.schoolweb.ne.jp/shishibonehigashi-e/>

「人の役に立つ自分になるために」

校長 鈴木 衣里

9月26日学校公開では、たくさんの保護者の皆様や地域の方々にご参観いただき、ありがとうございました。子供たちにとっても大変励みになったようで、張り切って取り組む姿をご覧いただけたと思います。

今回は、各学級で道徳の授業を公開いたしました。さらに、講師として、東南アジア（ベトナム・ラオス）の山岳地帯で教育環境に恵まれない少数民族の貧しい子供たちへの支援と交流活動に多大なるご尽力をされている認定NPO法人CSRスクエア理事長の宍戸仙助先生をお招きし、2・3校時は6年生への出前授業、4校時は保護者向けの道徳地区公開講座を実施いたしました。宍戸先生が何回も訪れているベトナムやラオスでの体験談が、6年生の心に強く響いたようです。以下にいくつか感想を紹介します。

- ・今の自分はきれいな飲み水も飲め十分にご飯を食べられるけれど、ベトナムやラオスの人々はそれが当たり前ではないと知ることができました。
- ・ベトナム、ラオスの人が、60～70年前の戦争で今も苦しんでいることやまだ8千万個の地雷が残っていることで、辛い思いをしていることを知りました。
- ・安全な教室で学べる今の環境は、当たり前ではなくとても幸せなことなのだと気付きました。
- ・シンガポールやベトナムの子供たちの笑顔を見て、幸せは不便がないことではないんだと思いました。
- ・地雷や病気で大人になれるのかも分からないのに、笑顔で前向きに生きていることがすごいと思いました。

他にも、「勉強することの意味」や「人の役に立つことがなぜ幸福につながるのか。」など、子供たちが自分事として考えさせられるお話ばかりでした。一人一人が感じたことをきっかけに、これからのSDGs探究学習へとさらに意欲を高めています。

*** 全国学力・学習状況調査の結果から ***

4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果から、国語では「話すこと聞くこと」、算数では「図形」や「変化と関係（割合）」に、特に課題が見られました。まずは、12月の江戸川区学力総合調査（3～6年生対象）に向けて、AIドリル等を活用しながら苦手分野の復習、基礎力の定着に取り組んでまいります。

また、学習状況調査の児童質問で感心したのは、「国語の授業で学習したことは将来社会に出たときに役に立つと思う。」89.2%、「算数が役に立つと思う。」86.1%と、学ぶ意義を感じているところです。

一方、「普段、1日当たりどれぐらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等で、SNSや動画視聴をするか（学習やゲームは除く）。」について、4時間以上38.5%（都18.2%）3時間以上13.8%（都13.5%）との結果には、正直なところ強い危機感を抱かずにはいられません。長時間にわたる視聴は、子供たちの成長に必要な貴重な時間（学習、睡眠、読書習慣、家族との対話等）の減少につながります。ぜひこの機会にSNS家庭ルールやスマートフォン等の使用時間について、改めてご家庭でも話し合っただけであれば幸いです。学校でも、メディアリテラシー指導（情報を正しく使いこなす力の育成）や生活リズムの定着に引き続き努めてまいります。